

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 翻訳センター

上場取引所 東

コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長 (氏名) 中本 宏

TEL 06-6282-5013

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,481	25.5	259	2.8	257	1.3	114	2.2
25年3月期第3四半期	5,162	31.8	252	△2.4	253	△0.8	112	△11.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 129百万円 (14.4%) 25年3月期第3四半期 113百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	67.98	—
25年3月期第3四半期	66.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第3四半期	3,840		2,516		65.4
25年3月期	3,822		2,463		64.3

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,512百万円 25年3月期 2,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	4,500.00	4,500.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年3月1日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っておりますが、平成25年3月期の配当金については、当該株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,780	20.8	400	△5.4	400	△5.4	190	△13.7	112.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	1,684,500 株	25年3月期	1,684,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	1,684,500 株	25年3月期3Q	1,684,500 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成25年3月1日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、上記の株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策による円安、株高が進行し、企業収益の改善とともに景気回復の足取りは堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループでは平成25年3月期から平成27年3月期までを対象とする第二次中期経営計画を平成24年9月に発表し、「すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ」という経営ビジョンのもと、言葉に関する事業領域の拡大による新たな価値創造を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、医薬・金融分野を中心に翻訳事業が堅調に推移したことに加え、平成24年9月に連結対象としたISSグループの業績が好調であったことから、前年同期比25.5%増の6,481百万円となりました。利益面においては、翻訳事業における人員増の影響などにより、営業利益は前年同期比2.8%増の259百万円、経常利益は前年同期比1.3%増の257百万円、四半期純利益は前年同期比2.2%増の114百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間および第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更し、それぞれ語学教育事業、通訳事業を報告セグメントに追加しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① 翻訳事業

特許分野では、企業の知的財産関連部署における取引拡大と新規顧客開拓が奏功したものの、既存顧客である特許事務所からの電気関連出願用明細書の受注が想定より下回ったことから、売上高は前年同期比0.5%増の1,282百万円となりました。医薬分野では、プリファードベンダー契約（注）に基づく受注が継続的に拡大していることに加え、新たなメガファーマとのプリファードベンダー契約の獲得や製薬会社からの新薬申請資料の受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比7.8%増の1,511百万円となりました。工業分野では、ウェブサイト関連の大型プロジェクト案件や情報通信関連企業からの定期案件の獲得に加え、株式会社アイタスから譲受したローカライズ案件が順調に推移したものの、自動車関連企業からの受注低迷により、売上高は前年同期比2.7%増の1,280百万円となりました。金融分野では、前期より注力している企業の管理関連部署への営業活動が奏功したことに加え、保険会社や金融情報サービス企業からのスポット案件獲得や外資系金融機関からの受注増などにより、売上高は前年同期比18.4%増の395百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比4.9%増の4,469百万円となりました。

#### ② 派遣事業

派遣事業においては、各種金融機関や情報通信関連企業、外資食品・飲食関連企業への通訳者・翻訳者派遣などが好調に推移し、売上高は前年同期比102.0%増の1,005百万円となりました。

#### ③ 通訳事業

通訳事業においては、大手の通信関連企業や外資食品・飲食関連企業、製薬企業からの受注が増加したことから、売上高は前年同期比183.7%増の438百万円となりました。

#### ④ 語学教育事業

語学教育事業においては、株式会社アイ・エス・エス・インスティテュートの通訳者・翻訳者育成のレギュラーコース（春期コースおよび秋期コース）にて計画を上回る受講申込を確保できたことから、売上高は前年同期比165.6%増の164百万円となりました。

#### ⑤ その他

その他のセグメントについては、平成25年6月に横浜で開催された「第5回アフリカ開発会議（通称：TICAD V）」の全体運営、および、平成25年11月に札幌で開催された「日中韓特許庁長官会合」の全体運営を担当するなど、株式会社アイ・エス・エスの国際会議企画・運営事業の売上が大きく寄与したことから、売上高は前年同期比110.3%増の401百万円となりました。

（注）プリファードベンダーとは、企業が優秀な人的リソースの確保と費用低減を狙い、優先的に業務を委託する特定の調達先（ベンダー）を指す。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に東京本部の移転を予定していることに伴う差入保証金の支払い、未払法人税等の支払いおよび配当金の支払いなどにより現金及び預金が133百万円減少したことによるものであります。固定資産は746百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に東京本部の移転を予定していることに伴い、差入保証金が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。これは主に買掛金が増加したものの、未払法人税等および賞与引当金が減少したことによるものであります。固定負債は159百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に年金資産の積み立てにより、退職給付引当金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,516百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況ならびに今後の受注動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年2月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,747,694	1,614,304
受取手形及び売掛金(純額)	1,142,828	1,219,806
仕掛品	61,938	107,357
その他	160,990	152,512
流動資産合計	3,113,451	3,093,981
固定資産		
有形固定資産	86,413	65,212
無形固定資産		
のれん	250,817	230,024
その他	111,154	78,747
無形固定資産合計	361,971	308,771
投資その他の資産	260,711	372,988
固定資産合計	709,096	746,972
資産合計	3,822,548	3,840,954
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	535,017	596,071
未払法人税等	80,830	52,711
賞与引当金	147,845	122,984
その他	417,410	393,210
流動負債合計	1,181,104	1,164,978
固定負債		
退職給付引当金	130,467	113,122
役員退職慰労引当金	35,400	35,400
その他	12,474	10,599
固定負債合計	178,341	159,121
負債合計	1,359,446	1,324,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	1,389,594	1,428,312
株主資本合計	2,456,860	2,495,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346	△349
為替換算調整勘定	1,567	17,342
その他の包括利益累計額合計	1,913	16,993
少数株主持分	4,328	4,282
純資産合計	2,463,102	2,516,854
負債純資産合計	3,822,548	3,840,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	5,162,552	6,481,030
売上原価	2,908,022	3,675,184
売上総利益	2,254,530	2,805,845
販売費及び一般管理費	2,002,226	2,546,336
営業利益	252,304	259,508
営業外収益		
受取配当金	725	1,165
受取手数料	576	576
その他	1,487	1,505
営業外収益合計	2,788	3,246
営業外費用		
為替差損	1,219	5,425
営業外費用合計	1,219	5,425
経常利益	253,874	257,329
税金等調整前四半期純利益	253,874	257,329
法人税等	141,128	143,485
少数株主損益調整前四半期純利益	112,745	113,844
少数株主利益又は少数株主損失(△)	738	△677
四半期純利益	112,006	114,521

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	112,745	113,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	966	△695
為替換算調整勘定	△527	16,406
その他の包括利益合計	438	15,711
四半期包括利益	113,183	129,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,452	129,600
少数株主に係る四半期包括利益	731	△45



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	語学教育 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,257,134	497,770	154,661	61,909	4,971,476	191,076	5,162,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,761	43,179	—	—	48,940	59,996	108,936
計	4,262,896	540,950	154,661	61,909	5,020,416	251,072	5,271,489
セグメント利益又は損 失(△)	250,642	△22,233	17,632	491	246,533	29,768	276,302

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,533
「その他」の区分の利益	29,768
セグメント間取引消去	833
のれんの償却額	△24,831
四半期連結損益計算書の営業利益	252,304

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	語学教育 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,469,867	1,005,868	438,850	164,466	6,079,052	401,977	6,481,030
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,805	19,771	13,199	936	36,713	30,269	66,982
計	4,472,672	1,025,639	452,050	165,403	6,115,766	432,247	6,548,013
セグメント利益	179,757	30,170	36,018	18,819	264,766	19,872	284,639

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	264,766
「その他」の区分の利益	19,872
セグメント間取引消去	20,900
のれんの償却額	△46,031
四半期連結損益計算書の営業利益	259,508

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めていた「語学教育事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、第2四半期連結会計期間より、「その他」に含めていた「通訳事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。